

補強土植生のり枠工

GTフレーム工法®

技術講習会（広島地区）のご案内



主催：補強土植生のり枠工協会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会ではこの度、下記の内容にて技術講習会を開催することに致しました。

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」は、全面緑化できることを特徴としたのり面保護工であり、防災・景観保全を目的とした全国の斜面对策現場でご活用いただいております。これまでの施工実績は、140万㎡以上となり、そうした適用現場の中では、国土交通省が運用する新技術情報提供システム（NETIS）の「平成30年度 推奨技術」に選定されるなど、工法の優れた活用の効果が高く評価されています。

当日は、当工法の紹介のほか、特別講演として、地盤工学・地盤防災工学にてご活躍されていますNPO 応用斜面工学研究会 副理事長 河内義文様にご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本講習は、(一社)全国土木施工管理技士連合会CPDSの学習プログラムとして認定されています。講習会終了後、受講証明書をお渡しします。 敬具

記

- 日時 2024年6月25日（火） 13:00～17:00（12:40より受付）
- 会場 広島YMCA国際文化センター 3号館 2F 多目的ホール
広島市中区八丁堀 7-11 TEL 082-227-6816
- 技術講習会スケジュール

時間	内容	講師
13:00～13:10	開会挨拶	
13:10～14:50	① 工法紹介 防災・景観保全に貢献する「GTフレーム工法」 活用の効果、適用事例の紹介	補強土植生のり枠工協会 副技術委員長 森本 泰樹
14:50～15:00	質疑・応答	
15:00～15:10	－ 休憩 －	
15:10～16:50	② 特別講演 斜面の地震豪雨災害（能登半島地震の事例など）	NPO 応用斜面工学研究会 副理事長 河内 義文
16:50～17:00	質疑・応答	
17:00	閉会	

※ 建設系CPD協議会加盟の他団体でのCPD単位申請については、各団体の問合せ窓口または当協会事務局までお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局
TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

申込期限

2024年6月17日(月)

(定員により申込みをお受けできない場合のみ、こちらからご連絡致します)

参加費

無料



補強土植生のり枠工協会 事務局 宛

FAX 0584-81-6838

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」
技術講習会(広島地区) 参加申込書

2024年 月 日

ふりがな お名前	勤務先	所属部署	電話番号

開催日時 2024年6月25日(火) 13:00~ (受付開始 12:40)

会場 広島YMCA国際文化センター (広島県広島市)



【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局

TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

URL http://www.gt-frame.com

会場案内図

広島YMCA国際文化センター 3号館 2F 多目的ホール
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11 TEL 082-227-6816



●交通アクセス

- ・市内電車 (5 番以外) 「立町」 電停下車 徒歩 3 分
- ・アストラムライン 「県庁前」 駅下車 徒歩 5 分
- ・JR 「広島」 駅からタクシーで 10 分
- ・広島バスセンターから徒歩 5 分
- ・宇品港から JR 広島駅行き市内電車 (1 番) 「立町」 電停下車 徒歩 3 分

お車でお越しの方は、YMCAの立体駐車場（有料）または周辺の一般駐車場をご利用ください。

特別講演

●講演題目

斜面の地震豪雨災害（能登半島地震の事例など）

●講演者 紹介

河内 義文 （コウチ ヨシフミ）

株式会社ケイズラブ 環境・地質工学コンサルタント 代表取締役
NPO 応用斜面工学研究会副理事長
博士（工学）・IMF 国際エンジニア登録
技術士 建設部門（建設環境）、応用理学部門（地質）
（公社）日本技術士会中国本部副本部長

【経歴等】

昭和 32 年（1957 年）7 月 山口市生まれ
昭和 56 年（1981 年）鹿児島大学理学部地学科を卒業
平成 5 年（1993 年）株式会社ケイズラブ設立（代表取締役）
平成 17 年（2005 年）国立大学法人山口大学理工学研究科博士後期課程修了
大学卒業後、フランスのシュランベルジュ社に採用され、オーストラリアで石油探査の仕事に就く。帰国後、建設コンサルタントに転進し、日本基礎技術株式会社でダム基礎地盤の諸問題（支持、透水等）の研究・調査・解析業務、地すべり・斜面安定対策の研究開発に携わる。平成 5 年 10 月、35 歳で独立しケイズラブを設立する。

ケイズラブは、「河内の研究室」。田舎の小さな研究室からグローバルな未来環境の夢を抱くことを基本理念として研究している。

専門は、地盤工学で、主に斜面崩壊を対象に、豪雨・地震災害に起因する土砂災害と対策法に関して、解析・研究を行っている。地震災害では、2004 年中越地震、2011 年東日本大震災、2014 年長野地震、2015 年ネパール地震、2016 年熊本地震の調査に参加している。

現在は、能登半島地震後に組織された「令和 6 年能登半島地震災害調査団」（公社）地盤工学会の「災害レジリエンス・斜面災害部門」調査団員に委嘱されている。